

元気と笑顔をお届ける ～芸術鑑賞会から～

5月24日(火)、本校に笑福亭鶴笑師匠をお招きして、「地上に平和を 人に笑顔を ～笑いは世界の共通語～」と題して、中高連携芸術鑑賞会を実施しました。青垣中学校3年生の生徒のみなさんに自転車で本校に来てもらい、一緒に公演を聴きました。

「皆で笑いあえば平和な社会になるはずです。それを信じて、地球の隅々まで笑いを届けたい!」とおっしゃる笑福亭鶴笑師匠は、NPO法人「国境なき芸術団」の代表も務められており、全国をそして世界を舞台に、強い思いと高い志を持って芸能活動と共にボランティアや学校等での公演を実施されています。

海外での公演実績は世界35カ国、100都市以上にのぼり、今回はイラクで公演された時のようすもビデオで紹介いただきました。師匠の公演を見たイラクの子どもたちの明るい笑顔がとても印象的で、鶴笑師匠の言われるとおり、まさに「笑いは世界の共通語」であることを強く実感しました。そのあと、南京玉すだれ、紙切り、パペット落語といった芸を披露いただきました。

明るい笑顔には強い力があります。にこっと笑うことができれば不思議と元気が出ます。気分が明るくなり、気持ちが軽くなります。それがまたがんばろうという次へのエネルギーにつながります。笑顔だから元気になれるし、元気だから笑顔になれるという良いサイクルが生まれます。明るい笑顔は自分自身を元気にするだけではなく、周りの人も元気にしてくれます。明るい笑顔で話しかけられるとうれしいものです。

笑顔は、初対面の人ともすぐに打ち解けられる人間関係の潤滑油であり、自分自身はもとより一緒にいるまわりの人も楽しい気分させてくれます。確かに、人間いつも笑ってばかりはいられません。苦しい時や悲しい時もあります。でも、明るい笑顔が広がれば、それが困難を乗り越える強い力になると思います。

(校長 高橋信之)

芸術部が作成したポスター

